序　　言

2019年12月に中国・武漢で最初の感染例が確認された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）はその後、瞬く間に地球規模で拡大し、世界の風景をがらりと変えた。

感染者数は数千万人の規模に及び、なお猖獗（しょうけつ）を極める中、国境を越える人々の往来は激減した。感染防止の観点から、人と人との接触をできるだけ避ける傾向が強まり、日本を含め各国社会のあらゆる分野に甚大な影響が及んでいる。大学もまた例外ではない。キャンパスからそれまでの日常的な光景が消え、一時期、通常の対面式授業を行うことができないという、かつてない試練に見舞われた。

幸い、世界はインターネットで瞬時につながることができ、オンラインによる情報伝達を可能とするネットワークが築かれている。そのため、テレワークやオンラインの積極的な利用が一挙に普及・拡大した。人類はこうして現代文明の利器を最大限に活用しながら、危機を機会すなわちチャンスへと変えていこうとするさまざまな取り組みを続けつつ、来たるべき「ニューノーマル時代」への対応に全力を挙げて取り組んでいるのである。

紛れもなく前途には、経済的にも社会的にも、前例のない厳しい状況が待ち構えていよう。それでも、人々が英知と気概を通い合わせる限り、道は開かれていくのではないだろうか。

そのような観点からみても、知の拠点、人材育成の拠点、そして地域の拠点である大学という教育研究機関の存在意義が今日ほど問われているときはない。人口減少、超高齢社会、コロナ禍に伴うさまざまな社会的変化など、多様な課題への解決に向けて、すぐれた実践例や最新の知見を提示していくことは、大学という教育研究機関に課せられた重要な責務であると考える。

時代の岐路ともいうべきこの時期に、北海道教育大学函館校が『国際地域研究 Ⅲ』を上梓する。本学が全国の大学に先駆けて「新課程」を改組し、国際

地域学科を函館校に設置したのは 2014 年である。以来、積み重ねてきた研究・教育の成果を、既刊の『国際地域研究 Ⅰ』『国際地域研究 Ⅱ』に続いて世に問うに至ったことは、国際化の中で地域活性化を担う人材を育成するという国際地域学科の使命に鑑みて、まことに意義深いものがある。このたびも、読者の皆さまから忌憚のないご意見、ご批判、ご感想を賜りたい。

2021 年 3 月

北海道教育大学長　蛇穴 治夫

『国際地域研究 Ⅲ』の刊行にあたって

北海道教育大学函館校の国際地域学科がスタートして、７年目を迎えた。国際地域学科は、国際的な幅広い視野を持ち、身近な地域の課題に挑みながら地域の活性化と再生に貢献できる人材を育成すること、現代の諸課題に対応し、先進的かつ学際的研究を推進して、その成果を地域に還元することを目的としている。

これまで、2018 年６月に「国際地域研究の地平線 ― 函館からの出発 ― 」をテーマに第１回シンポジウムを開催し、2019 年３月には『国際地域研究 Ⅰ』を刊行した。また、2019 年６月には第２回シンポジウム「国際地域研究の現実的課題 ― 国際化の中でさぐる地域活性化へのカギ ― 」を開催し、2020 年３月には『国際地域研究 Ⅱ』を刊行している。

今日の世界の危機的な状況は、国際と地域の不可分な関係を改めて示すものと言える。グローバル化、国際社会との交流、地域経済は大きな試練にさらされ、外国との往来はもとより、国内にあっても暮らしに大変な支障が生じた。大学も遠隔授業に取り組み、新たな課題に直面している。新型コロナウイルスにより、世界経済は大きな打撃を被り、観光・交通も甚大な影響を受け、課題山積の地域経済に新たな負担となっている。こうした状況下で未来をどう築いていくのかを考えるとき、希望を失わず、潜在力を生かす工夫を怠らず、新たな時代に賢明に対処していく必要があり、ここに大学の教育・研究の使命があると思われる。2020 年 10 月、第３回シンポジウム「国際地域研究の発展 ― 世界を呼び込む地域へ　世界に挑む地域を ― 」は、このような問題意識から開催され、国際化の渦中にある地域活性化について、今後の指針を示した。さらに『国際地域研究 Ⅲ』を刊行できることとなり、国際地域研究をより推進できるものと考えている。

北海道教育大学函館校がこのようなことを行う意義は、学校教員にとって地域の課題や現状を理解していることが重要であると考えるからである。そのた

めに、国際地域研究の成果をどのように教員養成に活かすことができるかということを継続して検討したいと考える。学校を含めた地域社会への支援、外国人児童生徒への対応など地域のニーズに合ったサポートのあり方についても研究を続け、地域の人材育成や学校教育を支えていきたいと願っている。

本学の国際地域研究について、これまでの成果の一端をまとめたものが本書である。国際地域学や地域研究に関心を寄せる多くの方にご覧いただき、ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いである。

2021 年 3 月

北海道教育大学函館校キャンパス長　五十嵐　靖夫

国際地域研究 Ⅲ

目　次

序　言……蛇穴 治夫…i

『国際地域研究 Ⅲ』の刊行にあたって…… 五十嵐 靖夫…iii

第１部　国際化の中の地域活性化

第１章　都市文化におけるミュージアムの役割（シンポジウム基調講演）
…… 蓑 豊…3

子どもに一生忘れない思い出を残すのがミュージアム／私が歩んできた道／エジプトの遺跡で中国陶器を選び出す／ハーバードで博士号を取得して３つの美術館で東洋部長に／従来のイメージを打ち破った美術館／美術館ができて、衰退していた街が変わった／発電所跡や砂漠地帯にも／米コロンバスで地元企業が始めた街づくりプロジェクト／「近代建築の博物館」のような街に／環境が感性をはぐくむ／金沢で現代美術館の館長になる／どうすれば人は来るのか／いろいろな仕掛けをしてこそ人は集まる／子どもに嘘をつかず、本物を見せる／兵庫県立美術館では屋上にシンボルのカエルの作品を／トップが動かなければ何も変わらない

第２章　新在留資格「特定技能１号」における政府の目論見と実態との乖離
―その要因と改善策試案―
…… 孔 麗…34

はじめに　34
1.「特定技能１号」の創設経緯　35
2.「特定技能１号」の概要　36
3.「特定技能１号」に関する各界からの批判　39
4.「特定技能１号」在留外国人の現状　41
5. 政府の目論見との大きな乖離の要因　46
6.「特定技能１号」の改善策試案　49
おわりに　51

コラム１　社会福祉の多分野性 …… 外崎 紅馬…54
コラム２　Work and Love …… 林 美都子…56

第２部　国際地域研究　各論

【地域活性化の実践例】

第３章　大学は地域をエンパワメントできるか
— ソーシャルクリニックの試み —
…… 古地 順一郎・齋藤 征人…61
はじめに　61
1. なぜ「ソーシャルクリニック」なのか　62
2. ソーシャルクリニックとは何か　65
3. ソーシャルクリニックの取り組み　68
4. 新たなソーシャルクリニックの形 — 巡回 SC の取り組み —　74
おわりに　79

第４章　万字線プロジェクト 2019 が拓いた新たな地平
— 地域と芸術をつなぐアートマネジメント人材育成に関する一考察 —
……宇田川 耕一…82
はじめに　82
1. プロジェクトマネジメントに関する基礎概念　83
2. アートマネジメント人材の育成に関する基礎概念　89
3. 万字線プロジェクト 2019 の実践報告　92
おわりに — 万字線プロジェクトが拓く地域の未来 —　96

コラム３　“進んだ”地方の音楽文化 …… 長尾 智絵…100

【国際化時代における教育の新たな可能性】

第５章　日本語教育における法教育の可能性
— 日本語教育者が法教育を行う意義について —
…… 佐藤 香織・金 鉉善…102

はじめに　102

1. 日本語教育と法教育の接点　104

2. 日本語教育者を対象とする法教育　106

3. 本実践から見えた課題とこれからの可能性　112

おわりに　113

第６章　地域海洋資源を活用した島国共通教材の開発
…… 松浦 俊彦・Fernan P. Tupas…117

はじめに　117

1. 海と地域　117

2. 海への関心と理解　119

3. 海と学校教育　122

4. 海洋リテラシーを培う科学教育の開発　123

おわりに　125

第７章　日本人青年期層の英語学習に関わる動機づけをサポートするビジョン
…… 菅原 健太・佐藤 将太…127

はじめに　127

1. ビジョンと動機づけ研究　128

2. ビジョンが導く長期的な動機づけの維持　132

3. 第二言語使用者としてのビジョンに基づく動機づけ研究　136

4. 日本人英語学習者のビジョンの強化を促す方法と行動パターン　140

第８章　JICA 課題別研修「初等算数教授法」における授業研究アプローチの可能性― 附属函館小学校での実践例をもとに ―
……石井 洋…145

1. 国際教育協力の実際　145
2. JICA 課題別研修「初等算数教授法」の事例　148
3. 調査結果の分析　152
4. 考察　163

おわりに　165

コラム４　エチオピア農村におけるインクルーシブ教育 …… 有井 晴香…167

【時代の深層を読み解く】

第９章　社会科学とマンガの架橋
いしいひさいち農民論 ― 中島正都市論を媒介にして ―
…… 田村 伊知朗…169

はじめに　169
1. マンガにおける農村と農民　170
2. 土地所有者としての都市内農民　172
3. 社会的位階制における農民　175
4. 都市化された農民　179
5. 都市住民に優越している農民　182

おわりに　185

第 10 章　ロールズの「格差原理」についての覚書
― 格差論のための予備的考察 ― …… 羽根田 秀実…188

はじめに　188
1. ロールズの「格差原理」　191
2. ロールズの理論における「格差原理」の位置　193
3.「友愛」理念の具体化としての「格差原理」　196

おわりに　207

コラム５　コロナ禍におけるジェンダー平等の問題…… 木村 育恵…210
コラム６　新型コロナウイルスが止めた世界の往来…… 山岡 邦彦…212

第３部　シンポジウム

1. 概要　217
2. パネルディスカッション「世界を呼び込む地域へ　世界に挑む地域を」
蓑 豊・宇田川 耕一・松浦 俊彦・山岡 邦彦…221

あとがき …… 246

執筆者紹介 …… 247